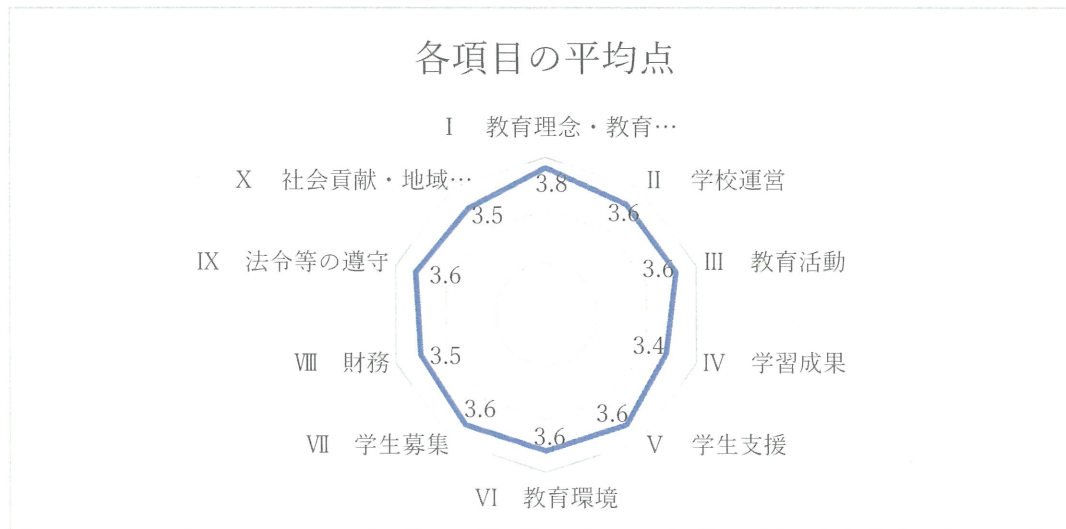


## 1. 自己点検・自己評価の項目ごとの得点

2024年2月13日～16日に教職員へのアンケートを実施した。教職員15名 回収率100%。

評価基準は、「4:適切」「3:ほぼ適切」「2:やや不適切」「1:不適切」とした。

評価項目	平均点
I 教育理念・教育目標・育成人材像	3.8
II 学校運営	3.6
III 教育活動	3.6
IV 学習成果	3.4
V 学生支援	3.6
VI 教育環境	3.6
VII 学生募集	3.6
VIII 財務	3.5
IX 法令等の遵守	3.6
X 社会貢献・地域貢献	3.5



評価項目	平均点
I 教育理念・教育目標・育成人材像	3.8
1) 教育理念・教育目的・期待される卒業生像は定められているか	4.0
2) 学校における看護教育の特色は明確か	3.9
3) 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.8
4) 教育目標・期待される卒業生像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.3
5) 教育理念、教育目的、教育目標は定期的に見直されているか	3.8

II 学校運営	3.6
1)教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.7
2)学校運営会議、職員会議、教員会議は定期的開催している	4.0
3)教務および事務の組織を整備し、業務分掌は明確になっているか	3.8
4)就業規則等は整備されているか	3.4
5)法令等を遵守し適切に運営しているか	3.7
6)情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.1
III 教育活動	3.6
1)教育理念等が反映された教育課程の編成がされているか	3.8
2)修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.7
3)カリキュラムは体系的に編成されているか	3.7
4)実践的な看護教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3.5
5)授業評価の実施・評価体制はあるか	3.6
6)学校関係者からの評価を取り入れているか	3.7
7)成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.6
8)資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.5
9)人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.4
10)関連分野の新たな知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための体制はあるか	3.5
11)職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.6
IV 学習成果	3.4
1)卒業時の到達状況を分析しているか	3.7
2)資格取得率(国家試験)の向上に向けた取り組みが図られているか	3.7
3)退学率の低減に向けた取り組みが図られているか	3.3
4)卒業生の活躍や評価を把握しているか	3.1
5)卒業後のキャリア形成を把握し学校の教育活動に活用されているか	3.3
V 学生支援	3.6
1)就職・進学に関する支援体制は整備されているか	3.7
2)学生相談に関する体制は整備されているか	3.5
3)学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.3
4)学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.7
5)自治会活動に対する支援体制は整備されているか	3.7
6)学生の生活環境への支援は行われているか	3.5
7)保護者と適切に連携しているか	3.5
8)卒業生への支援体制はあるか	3.6
VI 教育環境	3.6
1)施設・設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備されているか	3.5

2) 防災に対する体制は整備されているか	3.7
<b>VII 学生募集</b>	3.6
1) 学生募集活動は、適正に行われているか	3.7
2) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.3
3) 学納金は妥当なものとなっているか	3.7
<b>VIII 財務</b>	3.5
1) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.1
2) 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.5
3) 財務について会計監査が適正に行われているか	3.7
4) 財務情報公開の体制整備はできているか	3.6
<b>IX 法令等の遵守</b>	3.6
1) 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.7
2) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.7
3) 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.6
4) 自己評価結果を公開しているか	3.3
<b>X 社会貢献・地域貢献</b>	3.5
1) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.6
2) 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.7
3) 地域に対する公開講座等の受託を実施しているか	3.2

## 2. 自己点検・自己評価の結果

### I 教育理念・教育目標・育成人材像 平均 3.8

教育理念・教育目的・教育目標・期待される卒業生像の評価は平均 3.8～4.0 と高く、当校の新カリキュラムについて教員が理解していると考えられる。そのなかで、4) 教育目標・期待される卒業生像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているかについての評価は 3.3 であった。今年度の保護者会への保護者の参加率は約半数の参加があり、1 年生の保護者会では入学後の 4 月に学校側より当校の特色や設立の目的・教育理念・教育目的・卒業生の特性・教育課程・クラス運営や学習支援・国家試験対策について説明している。2・3 年生の保護者会でもクラスの状況や国家試験対策について説明し、保護者との個別の面談も行っている。

### II 学校運営 平均 3.6

この項目の評価の平均は 3.1～4.0 であった。4) 就業規則等は整備されているかについては 3.4、6) 情報システム化等による業務の効率化が図られているかについては 3.1 であり、時間外の業務や業務量の多さを指摘している。今年度も会議は定期的開催できており、業務分掌も毎年見直しを行い活用できている。また、昨年度から学校管理システム「info Clipper」を導入し業務の効率化に繋がっている。自由記載の中には「情報システム化についていけない。基本から理解できるように講習してほしい。」という意見がある。

### III 教育活動 平均 3.6

この項目の評価の平均は3.4～3.8であった。多くの項目では「適切」「ほぼ適切」と評価しているが、人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保や職員の能力開発のための研修等については、数名が「やや不適切」と評価している。研修等に参加することは、学校としての自分の実績になるため、多忙な中でも自分の教員キャリアラダーを考え、自己研鑽できるように教員の意識を高めていきたい。

### IV 学習成果 平均 3.4

この項目の評価の平均は3.1～3.7であった。今年度は1年生の退学率が例年になく高い。退学理由としては看護師を目指す意思が定まっていなまま入学したことによる進路変更や学力的な継続困難、経済的理由があげられる。現在、学生の情報共有は朝のミーティングや教員会議で行っている。就職先病院から卒業生についての状況報告があり、アメリカでキャリアを積んだり、臨地実習指導者として活躍したりしている卒業生も数名いる。卒後3年目までは湘南ナースの研修を通して卒業生の状況を把握できているが、その後に関しては難しいところがある。

### V 学生支援 平均 3.6

この項目の評価の平均は3.3～3.7であり、おおむね適切、ほぼ適切と評価している。毎年10月に実習病院等の奨学金説明会を開催しており、学生が奨学金や就職について考えるきっかけとなっている。就職試験の時期は年々早くなってきており、今年度は2年生の12月に業者による就職ガイダンスを実施した。また、学校長やクラス副担当を中心に履歴書の指導や面接練習も行っている。

### VI 教育環境 平均 3.6

この項目の評価の平均は3.5～3.7であった。インターネット環境については、4月にiPadを導入し設定時に接続不良になったが、その後の授業等には影響がなかった。

### VII 学生募集 平均 3.6

この項目の評価の平均は3.3～3.7であった。少子化と看護師を目指す志願者の減少、大学への進学希望者の増加が影響し、県内においても定員確保が困難になってきている。今年度は早期に進路を決めたいという受験者のニーズを考え、入学試験の時期を10月1日と早め、学生確保につなげることができた。また、指定校の基準の見直しも行った。

### VIII 財務 平均 3.5

この項目の評価の平均は3.1～3.7であった。自治体などからの補助金が減少するなか、教職員の予算についての理解と中長期的な財政基盤の安定のために、自治体等への働きかけを引き続き行っていく。次年度の入学生からは、施設管理費が増額される。

IX 法令等の遵守 平均 3.6

この項目の評価の平均は 3.3～3.7 であった。今年度より自己点検・自己評価を再開した。学校評価の結果については、今後ホームページ等で公開していく。  
個人情報の管理については、iPad の使用方法も含め、入学時より指導を徹底する。

X 社会貢献・地域貢献 平均 3.5

この項目の評価の平均は 3.2～3.7 であった。当校では1・2年生を対象としてボランティア活動を推奨している。新型コロナウイルス感染症の為、ボランティア活動が中止されていたが、今年度 4 施設が再開された。学校説明会やオープンキャンパスでのボランティア活動を含め、ほぼ全員が参加できている。ボランティア活動が自己成長の機会となり、就職試験時のアピールとなることを期待し、推奨していく。また、月 1 回地域の清掃活動も行っている。  
今年度、関連病院などへの学校の教材の貸し出しは 5 件あり、湘南ナースやクリニックナースの研修として7件の施設利用があった。さらに、湘南ナース研修の講師や社会福祉施設からの依頼で講義を実施している。